

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年1月23日(2020.1.23)

【公開番号】特開2019-205806(P2019-205806A)

【公開日】令和1年12月5日(2019.12.5)

【年通号数】公開・登録公報2019-049

【出願番号】特願2018-104113(P2018-104113)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和1年10月21日(2019.10.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与する特典付与手段と、

操作機会が付与される受付期間を発生可能な受付期間発生手段とを備え、

前記受付期間が発生する場合、操作機会が付与される期間が発生した状況にあること、または操作機会が付与される期間が発生することを示唆する受付許容音が可聴出力される遊技機であって、

前記受付期間としては、少なくとも第1受付期間及び第2受付期間が用意されており、前記第1受付期間は、

特定BGMが非抑制態様で可聴出力されているなかで発生しうるものであり、当該第1受付期間が発生する場合、前記受付許容音は非抑制態様で可聴出力されうるようになっており、

前記第2受付期間は、

非抑制態様で可聴出力されている前記特定BGMが抑制態様で可聴出力される状態または可聴出力されない状態になってから発生しうるものであり、当該第2受付期間が発生する場合、前記受付許容音は非抑制態様で可聴出力されうるようになっており、

さらに、

前記第1受付期間が発生する場合、前記受付許容音は、出力状態として維持される時間の長さが異なる第1態様及び第2態様を含む複数態様のいずれかで可聴出力されるようになっており、

前記第2受付期間が発生する場合、前記受付許容音は、出力状態として維持される時間の長さが異なる前記第1態様及び第3態様を含む複数態様のいずれかで可聴出力されるようになっており、

前記第1受付期間が発生するときに前記受付許容音が前記第1態様で可聴出力される場合と前記第2態様で可聴出力される場合とでは、前記判定手段による判定にて所定の結果が得られている期待度が異なっており、

前記第2受付期間が発生するときに前記受付許容音が前記第1態様で可聴出力される場

合と前記第3態様で可聴出力される場合とでは、前記判定手段による判定にて所定の結果が得られている期待度が異なっており、

さらに、

前記第1受付期間が発生するときに前記受付許容音が前記第1態様で可聴出力される場合と前記第2受付期間が発生するときに前記受付許容音が前記第1態様で可聴出力される場合とでは、前記判定手段による判定にて所定の結果が得られている期待度が異なっているが、前記第1受付期間が発生するときに前記受付許容音が前記第2態様で可聴出力される場合と前記第2受付期間が発生するときに前記受付許容音が前記第3態様で可聴出力される場合とでは、前記判定手段による判定にて所定の結果が得られている期待度が同じであり、

前記受付許容音としての前記第2態様及び前記第3態様は、出力状態として維持される時間の長さ、及び出力される音の態様がいずれも異なるものであり、

さらに、

操作機會が付与されることに関連したメッセージ表示が表示される前記第2受付期間では、当該第2受付期間内で遊技者による操作が行われなくても該操作があったときと同じ受付後演出が実行され、該受付後演出が実行開始される時点において前記メッセージ表示は非表示の状態にされておらず表示状態を維持しうるようになっており、

さらに、

前記第1受付期間と前記第2受付期間とは、1つの変動パターン内で順次に発生しうることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このような従来の遊技機では、遊技興趣が低下することが懸念される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

手段1：判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、

操作機會が付与される受付期間を発生可能な受付期間発生手段と

を備え、

前記受付期間が発生する場合、操作機會が付与される期間が発生した状況にあること、または操作機會が付与される期間が発生することを示唆する受付許容音が可聴出力されうる遊技機であって、

前記受付期間としては、少なくとも第1受付期間及び第2受付期間が用意されており、前記第1受付期間は、

特定BGMが非抑制態様で可聴出力されているなかで発生しうるものであり、当該第1受付期間が発生する場合、前記受付許容音は非抑制態様で可聴出力されうるようになっており、

前記第2受付期間は、

非抑制態様で可聴出力されている前記特定BGMが抑制態様で可聴出力される状態または可聴出力されない状態になってから発生しうるものであり、当該第2受付期間が発生する場合、前記受付許容音は非抑制態様で可聴出力されうるようになっており、

さらに、

前記第1受付期間が発生する場合、前記受付許容音は、出力状態として維持される時間の長さが異なる第1態様及び第2態様を含む複数態様のいずれかで可聴出力されるようになっており、

前記第2受付期間が発生する場合、前記受付許容音は、出力状態として維持される時間の長さが異なる前記第1態様及び第3態様を含む複数態様のいずれかで可聴出力されるようになっており、

前記第1受付期間が発生するときに前記受付許容音が前記第1態様で可聴出力される場合と前記第2態様で可聴出力される場合とでは、前記判定手段による判定にて所定の結果が得られている期待度が異なっており、

前記第2受付期間が発生するときに前記受付許容音が前記第1態様で可聴出力される場合と前記第3態様で可聴出力される場合とでは、前記判定手段による判定にて所定の結果が得られている期待度が異なっており、

さらに、

前記第1受付期間が発生するときに前記受付許容音が前記第1態様で可聴出力される場合と前記第2受付期間が発生するときに前記受付許容音が前記第1態様で可聴出力される場合とでは、前記判定手段による判定にて所定の結果が得られている期待度が異なっているが、前記第1受付期間が発生するときに前記受付許容音が前記第2態様で可聴出力される場合と前記第2受付期間が発生するときに前記受付許容音が前記第3態様で可聴出力される場合とでは、前記判定手段による判定にて所定の結果が得られている期待度が同じであります、

前記受付許容音としての前記第2態様及び前記第3態様は、出力状態として維持される時間の長さ、及び出力される音の態様がいずれも異なるものであり、

さらに、

操作機會が付与されることに関連したメッセージ表示が表示される前記第2受付期間では、当該第2受付期間内で遊技者による操作が行われなくとも該操作があったときと同じ受付後演出が実行され、該受付後演出が実行開始される時点において前記メッセージ表示は非表示の状態にされておらず表示状態を維持しうるようになっており、

さらに、

前記第1受付期間と前記第2受付期間とは、1つの変動パターン内で順次に発生しうることを特徴とする遊技機。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】